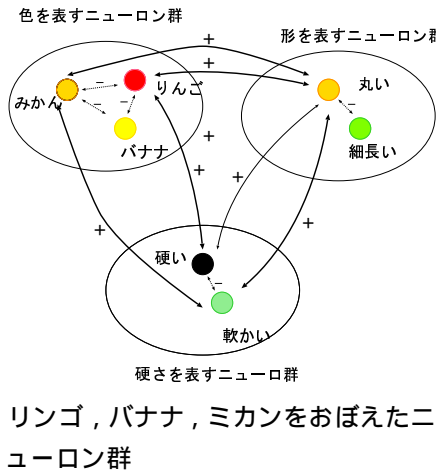


連想記憶モデル

- 基本事項：
 - ・ 局在表現と分散表現
 - ・ 連想記憶モデル
 - ・ Hebb (相関) 学習

- 連想記憶モデルとは

- ・ 一つの事項から関連する事項が次々と想起できる .
例：山 川 , 海 水泳 (相互相関型)
- ・ 部分から全体が想起できる .
不完全な鍵からの想起が可能 (自己相関型)
- ・ 分散表現 (1 つの記憶事項を多数の素子で表現)
- ・ 多重表現 (記憶事項の重ね合わせ)
- ・ 数学的性質：記憶容量 , 想起のダイナミックス



- 神経回路の数理モデル (復習)

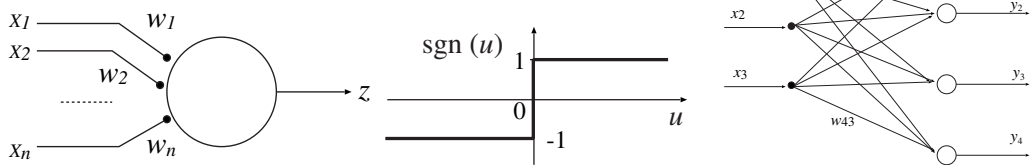


図 1: ニューロンの数理モデル (左) と出力関数 (中) , 相互相関型連想記憶回路 (右)

- 連想記憶モデル：相互想起型

- $x^1 \rightarrow y^1, x^2 \rightarrow y^2, \dots, x^m \rightarrow y^m$: m 個の連想パターン対 .
- $x^1 = [x_1^1, x_2^1, \dots, x_n^1]^T, x_i, y_i \in \{-1, 1\}$
- 各記憶パターンどうしは互いに直交していると仮定 : $x^\alpha \cdot x^\beta = 0, \alpha \neq \beta$
- 結合係数 w_{ji} をヘブ学習 (相関学習) により作っておく

$$w_{ji} = \frac{1}{n} \sum_{\alpha=1}^m x_i^\alpha y_j^\alpha, \text{ 行列とベクトルで書くと } W = \frac{1}{n} \sum_{\alpha=1}^m \mathbf{y}^\alpha \mathbf{x}^{\alpha T}$$

(n で割っているのは後の計算の都合上 .)

$$\mathbf{x} = \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ \dots \\ x_n \end{bmatrix}, \mathbf{y} = \begin{bmatrix} y_1 \\ y_2 \\ \dots \\ y_n \end{bmatrix}, \mathbf{y} \mathbf{x}^T = \begin{bmatrix} y_1 \\ y_2 \\ \dots \\ y_n \end{bmatrix} \begin{bmatrix} x_1 & x_2 & \dots & x_n \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} y_1 x_1 & y_1 x_2 & \dots & y_1 x_n \\ y_2 x_1 & y_2 x_2 & \dots & y_2 x_n \\ \dots & \dots & \dots & \dots \\ y_n x_1 & y_n x_2 & \dots & y_n x_n \end{bmatrix}$$

– 活動のダイナミクス: $x' = \text{sgn}(Wx^3)$

$$Wx^3 = \frac{1}{n} \sum_{\alpha=1}^m y^\alpha x^{\alpha T} x^3 = \frac{1}{n} \sum_{\alpha=1}^m y^\alpha (x^\alpha \cdot x^3) \rightarrow \alpha \neq 3 \text{ なら 内積 } 0 \rightarrow \frac{1}{n} y^3 (x^3 \cdot x^3) = y^3$$

● 連想記憶モデル: 自己想起型

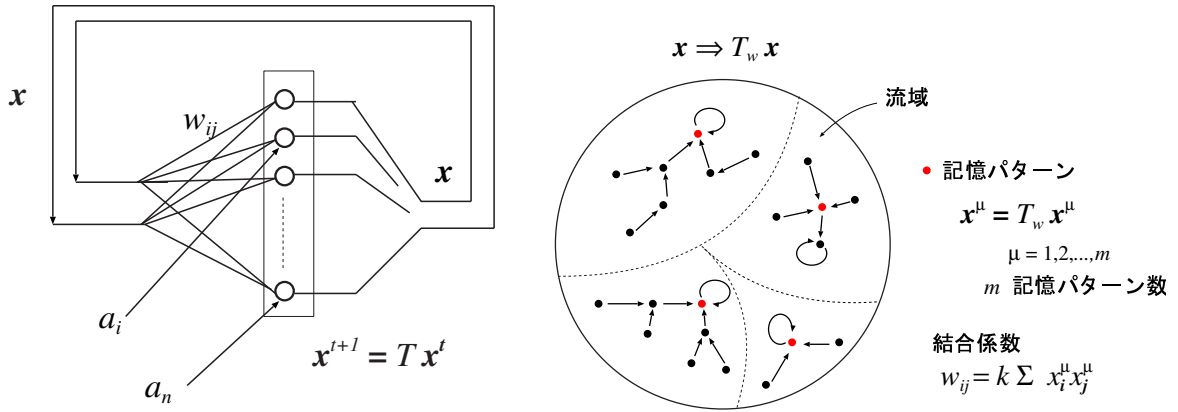


図 2: 左: 相互結合の神経回路モデル. 右: その状態空間. n 個の素子があると 2^n 個の状態がある. 引き込み領域 (流域) とは, 最終的にある安定状態に落ち着くような初期状態の集合.

- 各記憶パターンどうしは互いに直交していると仮定: $x^\alpha \cdot x^\beta = 0, \alpha \neq \beta$
- 結合係数行列:

$$W = \frac{1}{n} \sum_{\alpha=1}^m x^\alpha x^{\alpha T}$$

– 活動のダイナミクス: $x' = \text{sgn}(Wx^3)$

$$Wx^3 = \frac{1}{n} \sum_{\alpha=1}^m x^\alpha x^{\alpha T} x^3 = \frac{1}{n} \sum_{\alpha=1}^m x^\alpha (x^\alpha \cdot x^3) \rightarrow \alpha \neq 3 \text{ なら 内積 } 0 \rightarrow \frac{1}{n} x^3 (x^3 \cdot x^3) = x^3$$

- 多重分散記憶がうまくいく仕掛け:
 1. x^1, \dots, x^m が互いに直交
 2. 出力関数 $f(u)$ の強い非線型性

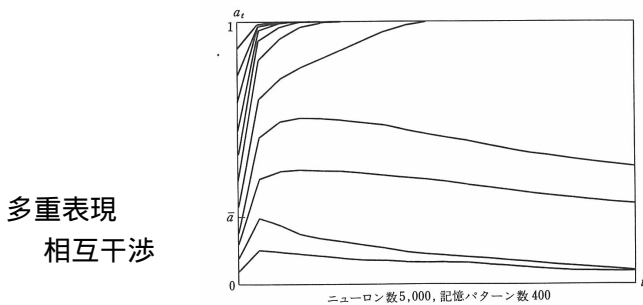


図 5-1 連想記憶の想起過程のダイナミクス

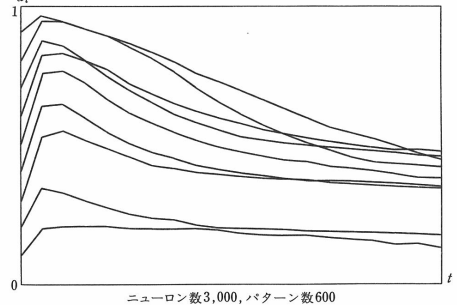


図 5-2 想起過程 (記憶が成立しない場合)

想起のダイナミクス. 記憶容量を越えた場合 (右).
 記憶容量 = m/n . ニューロン数 n , 記憶パターン数 m .
 縦軸は類似度 (正規化した内積) $a = (x \cdot x^\alpha)/n$. 横軸は時間.